

課題名：日本外傷データバンク（JTDB）を用いた重症外傷診療における施設間格差の評価と関連要因の探索：多層モデルを用いた PCV/MOR 分析

◆研究の目的と概要◆

当院では、【重症外傷の診療】について【各施設の診療体制や高度処置（手術・カテーテル治療など）の実施割合が患者さんの予後に与える影響】を調べることによって【より多くの命を救うための最適な外傷診療システム（有効な施設のあり方等）を明らかにすること】を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2019年1月から、2023年12月までの間に外傷診療の質の向上を目的とした日本外傷データバンク（JTDB）に情報が登録されている患者さん（熱傷、来院時心肺停止の方を除く重症外傷の方）が対象となっています。本研究は匿名化データベースを用いる研究です（個人は特定できない状況で研究を行います）。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、病院到着時の血圧などの状態、血液検査の結果（乳酸値など）、けがの部位とその重症度、診療で実施された治療内容（緊急の止血カテーテル治療や手術など）、および治療の結果（退院時の状態や生死など）

◆研究方法◆

本研究では、日本外傷データバンクの情報をを用いて実施します。このデータベース内の情報には、当院の患者さんの情報を含むことがあります。データベース内に登録されている情報の中から、上記に示す、研究に使用される項目を取得し、本研究の目的を明らかにするための解析を行います。

◆利用するデータベースについて◆

本研究で用いるデータベースについての詳細は、以下の URL をご参照ください。

《日本外傷データバンク》

<https://www.jtcr-jatec.org/traumabank/index.htm>

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は含まれません。
 - * 利用する医療データベースから提供される患者さんのデータには、氏名や住所やカルテ ID など、患者さんを特定することができる情報は含まれず、当院のカルテ情報とも連結することが不可能な状態で提供されます。そのため、本研究の対象となる可能性がある場合で、かつ、研究への参加拒否のご意向がある場合においても、その患者さんの情報を特定することは困難であり、ご意向に沿うことが不可能であることをご了承ください。
 - * 本研究に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
集中治療科 研究責任者 藤永 潤

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって研究対象者の人権・安全及び福祉の保護の観点から、当該臨床研究を実施することが倫理的及び科学的に妥当であるかどうかを審査され、実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法